

教科シラバス(3年芸術科(美術))

教科名	美術	科目名	美術Ⅱ	学年	3年(文系一般選択)	単位数	2
教科書と副教材			高校美術2				
1. 科目目標	美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばして豊かな情操を養います。						
2. 学習方法	<p>美術Ⅱでは、美術Ⅰの学習を踏まえ、より時間をかけて専門的に「絵画」「彫刻」「デザイン」「映像メディア」を学習します。「絵画領域」では、美術の目的をより理解すると同時に、描写力を追求した鉛筆デッサンや水彩画を学びます。「彫刻領域」では、20世紀から現代にかけての彫刻を紹介しながら、モデリングとカービングについて学習をしますが、美術Ⅱでは、主にモデリング技法を専門的に学び技法を習得してもらいます。「デザイン領域」では、主に「グラフィックデザイン」について詳しく学習しますが、美術Ⅱでは新たに美術として確立された、「映像メディア」についても学習します。この「映像メディア」はグループ学習形式を取っており、協同制作についても理解してもらいます。</p> <p>どの領域の学習においても、生徒一人一人が主体的に取り組み、美術を愛好する心情を育て、生涯にわたり美術を学び楽しみ続けるためのプログラムを用意しております。</p> <p>① 美術Ⅱでは、4つの領域「絵画」「彫刻」「デザイン」「映像メディア」を学びます。</p> <p>② 様々な美術を紹介し、美術作品に対する「鑑賞」を学びます。</p>						
3. 学習評価	評価は次の4つの観点から行います。						
	関心・意欲・態度	感受性・表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞能力			
	美術に対する興味・関心をもち、意欲的に作品制作に取り組んでいるか。	対象物をよく観察し、基礎的な知識と技術を身に付け、自己の表現意図にあった方法で制作できているか。	作品に対するイメージをもつ努力をしているか。材料や道具の特性を理解し、効果的に活用されているか。	他の生徒の作品に関心を持ち、表現の違いや良さに気が付き、自身の作品に反映されているか。			
	授業態度 学習の取り組み状況 作品の提出状況と内容	制作態度 制作過程と作品の内容	制作態度 制作過程と作品の内容	授業態度 学習プリント(鑑賞カード)			
評価は、学習の取り組み状況、実技課題進捗状況、学習プリント、授業態度を総合的に判断して決定します。定期考査は行いません。							
4. 学習サポート	<p>【芸術大学・美術系の進路を考えている人へ】</p> <p>将来、美術関係の仕事に就きたいと考えている人。まずは芸術・美術系の学校に進学してください。どんな学校があるか詳しく知りたい人は、全国にある芸大・美大などの学校を紹介します。</p> <p>芸大・美大の入試内容は、国公立系、私大系によっても違いますし、希望する専攻(油画・日本画・彫刻・デザイン・映像関係・芸術学・アニメ・漫画など)によっても全く異なります。近年は入試内容も幅広く、基礎力はもとより応用力が求められます。国公立系・関東系私大を希望しているのなら、高校1年生から基礎的な美術の勉強をしないと遅いと言われております。保護者や担任教諭とよく相談し、なるべく早く対策を始めることが合格への近道となります。また、推薦入試での美術系進学を考えている人は、日頃の成績も重要視されますが、面接で美術に対する自身の考えを伝えられる対応力と、日頃制作作品を提出することがあります。美術に対する取り組み方や、展覧会への出品、賞の有無などが採点に影響されます。日頃の努力が実を結ぶことになるのは言うまでもないです。</p>						